

平成25年度 第2回鳥取市景観形成審議会 議事録 要旨

日時：平成25年8月6日（火）10：00～11：15

場所：鳥取市役所本庁舎4階第4会議室

審議委員 芦澤喜武委員【会長】、中橋文夫委員【副会長】、平井覚委員（欠席）、
大北美知枝委員、池本義隆委員、松島勇委員、西山靖代委員
熱田龍二委員、房安一也委員、中島英明委員、西垣文智委員

事務局 鳥取市都市整備部 大島英司部長、都市企画課、国森洋次長兼課長
山本勝信景観形成係長、本部良技師、廣谷一茂技師
道路課 谷口浩章課長、長谷川幸彦主査兼維持第一係長
中心市街地整備課 楠本博課長
企画調整課 枅谷承文係長

大阪滋慶学園 鳥取市医療看護専門学校開設準備室 事務局松田晃次長
白兎設計事務所 熊澤幸秀取締役設計部長

■ 審議会の経過

- 1 開 会
- 2 あいさつ
(1) 会長あいさつ
(2) 都市整備部長あいさつ
- 3 報告事項
(1) (仮称) 鳥取市医療看護専門学校の概要について
(2) 鳥取駅南口交通広場の整備について
- 4 その他
- 5 閉 会

■ 議事内容

3 報告事項

- (1) (仮称) 鳥取市医療看護専門学校の概要について

※事務局から資料①を用いて報告：略

芦澤会長) まだはっきりとわからない段階ですので、そこにもものが立つというイメージの中で皆さんがこういうふうなイメージにしてほしいなという意見がありましたらよろしくお願いします。

西垣委員) 看護学校が建つことによりたくさんの生徒さんが通われ、建物が増えてくると思います。その時に、鳥取らしさか久松山をメインに据えるかといった、建物全体のバランスを考えてほしいと思います。

中橋副会長) 一つはトータルランドスケープの観点からこの空間をどのように捉えたのかをおさえ説明していただくこと。もう一つは先の話ですが、これからの都市はおそらく人口が減ってくる、いわゆるコンパクトシティになってくると思います。都市の隙間、いわゆるボイド空間があることで都市は発展していきます。模型を見る限りでは圧迫感を感じますので、そういう隙間をうまくデザインしてほしいと思います。また、建物と空間に緑をもう少し差し込んでほしいと思います。都市は建築、土木、造園が三位一体となって初めて都市を冠するのでそこを考えて欲しいです。最後に、難しいこととは思いますが、鳥取らしさとは具体的に何なのかを考えていただきたい。駅前に来て鳥取の風土が感じられるような、つまりトータル景観の考え方と空間のディテールを整備していく、そういうところから設計事務所からプランが出てくるのを期待します。

芦澤会長) 鳥取らしさというものはとても難しいもので、どこの地方都市にいても同じような駅前になっています。鳥取は鳥取地震、鳥取大火が起り、防災都市へと復興しました。生活に必死だったので景観を考えることがなかったこともあり、景観上優れた街とはいえません。そういった鳥取市の歴史を参考にして、景観上の目標を定め、例えば建物のスカイラインを変化させるなどの設計のコンセプトを打ち出して欲しいと思っています。最後に、法律や条例に基づいて設計するのはあたりまえのことであって、社会をリードしていくような会社や組織にはそれ以上のモラルを持って対処して欲しいと思います。

大北委員) 看護専門学校ということで、これから将来を担っていく子供たちを育てていくような建物だと思って設計してほしいと思います。

房安委員) 看護学校に来られる生徒のための駐車場はどのように対処されますか？

滋慶学園> 基本的には建物内に駐車場はありませんので、近隣の駐車場の活用を考えています。

房安委員) 地下に駐車場を作ることは考えていないのですか？

滋慶学園> はい。

芦澤会長) 滋慶学園さんの事情があると思いますし難しいと思いますが、1階をオープンスペースにして公共の場として開放していただくような建物にしていただければ風味があって面白いと思います。

中嶋委員) 外壁の色とかオープンスペースが可能かどうかなど具体的な話がしたいのですが、例えば基本設計ができた段階で協議はできないでしょうか？

芦澤会長) 可能だと思います。ある程度計画ができればまた報告していただき審議したいと思います。

滋慶学園> オープンスペースは難しいと思いますが、医療の一日体験とか講演会を開くようにしたいと考えています。私共の考えとして「学生・保護者からの信頼、業界からの信頼、高等学校からの信頼、地域からの信頼」というような4つの信頼というものがあって、そのことから考えていきたいと思います。

芦澤会長) オープンスペースは生徒や街の人にもいい、街と一体化できる場所になると思うのでぜひ考えていただきたいです。

中嶋委員) 建物が風紋広場に接近しているので、圧迫感を感じない設計にして欲しいと思います。

池本委員) 県から土地を譲渡される場合、駐車場問題が解決してからということがあったと思いますが、あそこの駐車場がなくなった上で、生徒や職員が近隣の駐車場を利用するとなると混雑しませんか。また、ワシントンホテルの駅南から出てくる部分がすごく渋滞すると思います。そのへんはどう思われますか？

事務局> 駐車場としては既に計画的に一時停車、あるいは長時間の駐車について対応を考えていると県に説明し、了解を頂いたうえで土地を譲ってもらっています。市としては送迎に必要な近距離に一時停車スペースを確保していく方向ですし、日本海新聞社の駐車場を更に時間貸しの方向に回していただくようにも調整しています。民間の方でも駅北口周辺で時間貸し駐車場が最近また増えている状況もあり、駅周辺全体としては確保できるものと考えております。駐車場用地の道路脇については、左折レーンがないので、横断歩道を渡る歩行者を待っている車がかえて渋滞状態になっていることは市議会でも指摘されています。土地を取得した時に滋慶学園さんに貸す部分と渋滞を解消するために左折レーンを作る部分とに分けて並行して事業を進めていますので、問題はないと思います。

芦澤会長) 一般の方の駐車場は問題ないということですが、次は生徒や職員など学校関係者の駐車場問題が出てくると思います。生徒は公共交通機関を使うよう指導されるのですか？

滋慶学園> 原則的に公共交通機関を利用するよう指導します。

芦澤会長) できるだけ職員もそのように対処していけばそんなに問題にはならないと思います。
だいたい職員は100人くらいですか？

滋慶学園>職員は専任で40名程度、講師を含めると100名を超えていると思います。

芦澤会長) そういうことなので、部長がおっしゃられたように駐車場横の道路も整備すればそんなに心配することはないように思えます。

熱田委員) 風紋広場の緑と看護学校の壁面の見え方、例えば壁面緑化など周囲の景観に配慮したものに設計して欲しいと思います。もう一つはメインの入口をどこに作るかによって風紋広場と看護学校の関係性が変わってくると思いますが、もし入り口をどこにするか決まっているのでしたら教えて下さい。

滋慶学園>鳥取銀行さん側を入り口と考えています。

熱田委員) それでしたらやはり壁面の使い方の配慮をお願いしたいと思います。もう一つは風紋広場などでライブイベントがあり、音の問題が非常にあります。その時に授業があるとうるさくて授業に集中できないのではないかと思います。そこで授業の体系はどうなっているのでしょうか？

滋慶学園>今のところは昼間部のみで考えています。土日は基本的には休みになります。ライブイベント時には日程を調整し、休講にすれば学生さんに迷惑をかけないかなと思っています。

中橋副会長) 看護学校に公共的なオープンスペースをつくることについて、建築基準法による総合設計制度の考え方に基づいた公共公開空地というような考え方を持っておられますか。建物の高さで公共公開空地とのバランスのとり方が問題になると思います。

事務局>風紋広場横の壁面のデザインを頂いていないので判りませんが、現在の計画高さでは資料のとおり駅の南側からは看護学校の建物がほとんど見えませんし、風紋広場には高い木があるので多くの壁面が隠れると思います。看護学校の高さを高くしてまで公共公開空地をつくることについては、あまりメリットが感じられませんが、むしろ駅前の景観を阻害するのではないかと思います。

看護学校としては、できるだけ効率的な建物にされたいでしょうし、外に向けてオープンにしすぎることは学生や職員の安全面の問題も考えられます。

看護学校は看護の基礎的知識を持った学生さんあるいは専門知識を持った職員さんなどが居られる建物でありますので、市としては、災害時のための可能な協

定についても検討していきたいと思っています。

看護学校には、安定的な経営をして頂くこと、職員・学生さんの安全に配慮して頂くことと、公共的な面について今後協議をしていきたいと思いますが、現段階ではまだその段階ではないことをご理解頂きたいと思います。

芦澤会長) いろいろな意見がでましたがこれらの意見を参考にして、地域社会に貢献するという意味合いを持って、市民がいいものが建ったと思われるようなものを作るよう努力していただけたらと思います。

3 報告事項

(2) 鳥取駅南口交通広場の整備について

※事務局から資料②を用いて報告：略

芦澤会長) なにか意見はありますか？

中嶋委員) 歩行スペース、作業スペースの確保ということで JR 側が南口正面に持ってくるのに難色を示されたということですが、大黒様とうさぎの銅像だけなら広いスペースが必要でないため、南口正面に設置することができるのではないかと思いますがいかがでしょうか？

事務局>銅像だけという考え方もあるかもしれませんが、景観的に台座もあった方がいいのではないかと思います。この台座の石は、現在使われているものを活用したいと考えています。

中嶋委員) 三枚目のパース図がありますけど、この視線の通行人はまずいません。これはわざわざここに来て見る光景なんですよ。このオブジェのシンボリックな面を考えると、もう少しなんとかならないのかと思います。本当に JR がどうしてもダメだということなのでしょうが？

芦澤会長) JR はどうしてもダメだということみたいです。南出口から見たら自然と見える位置にありますよね？

事務局>南出口を出たら直接見える角度にあります。

芦澤会長) ここに描いてあるように、みんなと一緒に休憩したりするスペースということでここに作っています。銅像だけ置くとすると、もっと前の方に置けるかもしれませんが、それだけだと周辺の環境として味がないかもしれません。ですからこの辺で辛抱したいかなと僕は思っていますが皆さんどうですか？

房安委員) 車の動線とかそういったものから少し外れたものの方がよい、そこに歩いて行って楽しむと、そこで休憩をするという考え方をすれば僕はこの位置でいいと思います。

中橋副会長) あとデザインの話ですが、なにか鳥取駅のお客さんを引っぱり込むようなオブジェの配置方法があるのではないかと思いますがいかがでしょうか？例えば誘いの導線のデザインとか。

事務局>今の時点では駅から出て観光バスの乗降場所に向かってロータリー脇を歩いていくと大黒様とうさぎの向こうに山白川のスカイラインが見える配置にしています。工夫の仕方によって大黒様とうさぎがどう見えるかについてはもう少し検討させていただきます。

芦澤会長) 造園家としては新しいものを作ってそこに目を向けさせることをビスタ効果というのですが、このオブジェの方に目を向けさせるような何かを考えて欲しいと思います。

中嶋委員) 大黒様周辺に木を植えるのですか？

事務局>木を植える予定はありません。

芦澤会長) 報告事項はこれで終わりです。